

青年会議通信vol.1

発行：今金町青年会議

電話：0137-82-3488

青年会議とは？

青年会議は改めて言いますと、町づくり事業、東北支援事業、地域イベント企画事業、元気活発化事業、各種委員会協力など様々な活動があります。簡単に言えば・・・

今金町を盛り上げて、色んなことを学ぼうということです。

今回、この通信を発行するにあたり、今まで知っているようで知らない青年会議の活動を簡単に二つ紹介します。

まず、一つ目は今金町PRポスター作りです。コンセプトは3月26日の北海道新幹線開業に向けて、今金町をもっとたくさんの人に知ってもらいたいという意味で始めました。

たくさんの人に支えられながら納得のいくものが完成しました。町内外問わず多くの協力を得ながらポスター掲示をさせていただいています。



外崎町長との一枚



田中教育長との一枚



P.S.

第64回日本観光ポスターコンクールに応募しましたが、今一步及ばず一次審査で落選してしまいました・・・(泣)

青年会議役員一覧

任期：平成27年4月～平成29年3月末

| 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 |
|------|-------|----|-------|
| 会長 | 苅屋 泰裕 | 理事 | 上村 和宏 |
| 副会長 | 小川 拓馬 | 理事 | 中尾 守 |
| 事務局長 | 伊藤 和喜 | 理事 | 村本 智之 |
| 会計 | 山崎 周一 | 理事 | 藤村 大樹 |
| 監事 | 安西 朋之 | 監事 | 芳賀 健太 |

★裏面もあります★

東北視察研修

東北視察研修は、報道ではわからない実際の現地の状況を目で、肌で感じて東北・日本を元気にする手助けを少しでもできれば！を目的に掲げ今年で交流会も含めて5回目となりました。今年からは1回目から交流している雄勝町等に行きました。



南三陸町防災対策庁舎跡



福島県浪江町



雄勝町の小松夫人（左）

◆今回、視察に行ったメンバーの苅屋会長、小川副会長、仁木宏直さん（農青）の感想を掲載致します◆

苅屋

震災から5年。今回、2回目の現地を視察してきた。率直な感想としては、町自体の地番再建は進んでいると感じたが、復興となるにはまだまだ時間がかかるのだろうと感じた。特に南三陸の防災庁舎の周辺は地盤のかさ上げが進み、去年の風景とは一変していた。翌日は福島にも行く事ができ、放射能汚染による、帰宅困難区域内も視察できた。今金町よりも大きな町なのだが、警備員と警察官しかいなく、まるで時間が止まっているかのような異様な光景であった。

テレビでは感じられない360度の目撃と雰囲気、現場に立つ重要性を改めて感じられた視察となりました。尚、雄勝町の方との交流は小松さんの仕事の関係上、奥様が対応してくださって、今回の目的の一つでもある今金町PRポスターも渡すことができました。

小川

石巻市立大川小学校、南三陸町防災庁舎視察

現地ではなぜか、一般人が写真を撮るのがタブー的な雰囲気が漂う。しかしSNSの発展がとどまる事のない昨今、一人の人間ができることは身近な人にそれらを使い伝える事一点に限ると感じた。その伝える内容も、今被災地が世界中と協力してどれだけ発展を遂げているのか賛否両論あれど防災庁舎より高く盛られた人口の土の山等の、メディアだけでは感じる事のできないナマの現状に尽きる。

全国の過疎地に住む人間がここを『見た事のない世界』で終わらせないことと、人と人の繋がりで見られる底力を見るべきであり、感じなければ今我々が済む日本の現状を把握することはできないだろう。

『がんばろう日本』『がんばろう東北』が見事に死語となり、ある種日本全体が震災に対してどう向き合うかという分岐点を迎えているように感じる。 《つながろう日本》

仁木

震災後初めて福島の現地を視察しましたが、メディアの報道だけでは得ることの出来ない情報や空気を感じることができた。また、5年たっても変わらない風景に、復興の在り方や原発問題など自分自身考え直すきっかけになりました。微力ながら自分でも協力出来ることを見つけて貢献していきたいと思います。

これからも様々な活動を考えて、
会員一同がんばっていきます！！！！